第6回 NUKA-DOKO meeting 会議メモ

1 NUKA-DOKO meeting概要

日時：2025/7/2(水）10:00-11：30（12:00）

場所：元離宮二条城　大休憩所レクチャールーム

出席者：全22名

◆京都市役所（11名）

NUKA-DOKO事務局、中京区役所、文化市民局 文化芸術企画課、同 地域自治推進室

◆一般参加者（10名）

2 次第

１部（概要説明）／10：00 - 10：30

NUKA-DOKO の趣旨説明

自己紹介（１分ずつ）

コラボ事例報告

前回までの振り返り

２部（ブレインストーミング）／10：30 - 11：30

第１ラウンド（20分＋共有）

第２ラウンド（20分＋共有）

＜中締め＞

３部（eventに向けた具体的な議論）／11：30 - 12：00

イベントの実現にむけて、具体的な行動をとりたい参加者のみが残り、企画の詳細や役割分担について話し合う。

3 コラボ事例報告

（1）NUKA-DOKO事務局に新メンバー

NUKA-DOKO事務局に京都市景観・まちづくりセンターからスタッフをお迎え。

（2）コミュニティラジオ「こちら上京コーホー部 SSCR 堀川商店街」

NUKA-DOKO事務局がコミュニティラジオ「こちら上京コーホー部 SSCR 堀川商店街」に出演。

（3）knocks!horikawaを視察

NUKA-DOKO事務局がknocks!horikawa（一般参加者が活動拠点の一つにされている）を視察。

（4）二条城界隈周遊イベント（まちあるき×謎解き）が進展。

運営主体である「ご近所を大冒険」（ギャラリー幹）が二条城界隈周遊イベント（まちあるき×謎解き）を進展させる。NUKA-DOKO参加者とのコラボレーションで、イベント景品やデジタルマップサービスの提供を受けた。二条城で撮影した写真をオリジナルのイベント景品に使用する。

（5）二条城・寛永行幸四百年祭

関係者向けの交流会を実施した。前回NUKA-DOKO meetingで出た意見を持返り、運営主体で検討したところ、「寛エール」という地ビールを作るアイディアが面白いと好評だった。

4 ブレインストーミング

（1）二条城界隈周遊イベント（まちあるき×謎解き）

・コラボ事例報告にもあったとおり、事業が進展している。

・iHistory社とのコラボレーションで、デジタルマップサービスを活用することとなった。マップ上で黄色は謎ポイント、緑色は休憩ポイントを示す。そこで買い物をした参加者には、最終地点で特典が増えるというインセンティブを用意するそうだ。

・謎ポイント8か所中、7か所が決定した。1か所は交渉中だが、烏丸通～新京極通くらいで謎を置いてもらえるところがあったらマッチングしたいとのこと。

・以前のイベントではコスプレイヤーが立ってポイントを担ったことがある。同様に同志社大学人力車サークルがポイントを担い、乗車体験等が出来れば面白い。

（2）二条城・寛永行幸四百年祭

・前回参加いただいた「屋台家」橋本さんは中京区役所屋上や福祉施設等、まちの様々な場所でホップを育てる活動をされている。

・伝統産業との連携は意義深いが、「寛永文化」との関係性を歴史的に裏付ける必要があるのではないか。

・二条城界隈周遊イベント（まちあるき×謎解き）のまち歩きノウハウ、iHistory社のデジタルマップノウハウを活かし、寛永行幸ゆかりの地を巡るまち歩きイベントがあれば面白い。

（3）二条城周辺の防災

・中京区は小規模マンション、細街路等、防災面で脆弱で課題が多い地域である。また、二条城は周辺の広域避難場所である。

・NUKA-DOKOで防災を取り上げることで、イベントを通して、楽しみながら防災を考えるきっかけ作りが出来るのではないか。

・イベントにはシュルード設計が手がける３Dレーザースキャンノウハウが活かせる。

・最も身近な課題は初期消火に必要な設備（消火バケツ、消火器）の位置の把握である。

・二条城周辺という観点で考えたとき、防災の主体は地域住民だけでなく、働きに来ているビジネスマン、学びに来ている学生、観光客と様々である。地域住民にとっては当たり前の情報も、その他の方々には伝わっていない。それらをデジタルの力を使って、上手く伝えられないか。

・３Dモデルを使うことで、実際のまちの姿に火災や建物倒壊等のシミュレーション毛化を反映させ、より実体験に近い訓練が可能になるのではないか。

・３Dモデルを使うことで、ゲームに近い形で、楽しく防災を考えるきっかけを作れないか。

（4）今後のNUKA-DOKOの活動の方向性

・二条城を核とすることで区界を気にせず活動出来るところがNUKA-DOKOの魅力である。

・様々な主体が集まることで、それぞれの得意分野のコラボレーションが始まっている。今後、話し合いだけでなく「体験してみる」、「活用してみる」といった具体的な行動に繋がるよう期待している。

6 次回予定の決定

8月6日（水曜日）午前10時@中京区役所